

韓国で口蹄疫が発生しました

平成26年7月24日、韓国家畜衛生当局は、慶尚北道義城（ウィソン）郡の養豚場において、口蹄疫（O型）が発生したと発表しました。韓国における口蹄疫の発生は3年3ヶ月ぶりとなります。今回、豚での発生であり、ウイルスの飛散拡大が懸念されます。

畜産農家の皆様は、「韓国への訪問の自粛」、「飼養家畜の的確な観察」及び「飼養衛生管理の徹底」等、防疫対策に万全を期されるようお願いいたします。

口蹄疫とは？

- ・「口蹄疫ウイルス」によって、牛、水牛、めん羊、山羊、豚、しか、いのしし等が感染します。
- ・突然40～41℃の発熱、元気消失に陥ると同時に多量の流涎（よだれ）がみられ、口、蹄、乳頭等に水疱やびらんを形成し、食欲不振、跛行（足をひきづる）を呈します。

防疫対策は？

飼養衛生管理基準の遵守し、侵入防止に努めましょう。

- ・ 畜舎や器具の清掃・消毒の実施（消石灰液、炭酸ソーダ液等）
- ・ 衛生管理区域への人や車両の出入りの制限
- ・ 畜産物の残さを給与している場合には、加熱処理の徹底

韓国における口蹄疫の発生状況
(2014年7月23日～、O型)



飼養している家畜に異状が認められた場合は、すみやかに家畜保健衛生所に連絡してください。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL : 0463-58-0152 FAX : 0463-58-5679